

# 3 出版

## [概要]

歴博では調査・研究活動の成果を広く公開すべく、多様な出版物を編集・刊行している。それらは、大学共同利用機関法人として内外の研究者たちが協同しておこなってきた調査・研究や、博物館における地域との連携などさまざまな活動の成果を、専門家のみならず広く市民に伝える役割を担っている。

2023年度は、研究報告6冊、展示図録2冊、歴史と文化への好奇心をひらく『REKIHAKU』3冊を刊行した。さらに、国際交流や機構連携研究のプロジェクトの成果として、研究集会やシンポジウムなどの内容をまとめた報告書などを適宜、作成した。

広報連携センター 橋本 雄太

## [国立歴史民俗博物館研究報告]

第241集 (2023.4)  
[共同研究]  
高度経済成長と食生活の変化

共同研究の概要 宮内 貴久・関沢 まゆみ  
民俗学における食習研究の視点 関沢 まゆみ  
明治期から昭和初期までの福岡県の魚食と肉食  
「民俗資料緊急調査」と『日本の食生活全集聞き書 福岡の食事』を手がかりとして 宮内 貴久  
高度経済成長期からの福岡市における魚類の購入数量の変遷 全国と比較して 宮内 貴久  
芸北地方の食生活の変遷 高度経済成長期とその前後 新谷 尚紀  
高度経済成長期を中心にしたマツタケとシイタケの生産—消費動向とその背景について 小椋 純一  
高度経済成長期におけるツーリズムと郷土料理／郷土食雑誌『主婦の友』を中心として 村瀬 敬子  
高度経済成長期の学校給食 東京都の学校給食喫食者と学校栄養士を対象とした調査研究 赤松 利恵・渡邊 紗夕  
沖縄の日本本土復帰前・後における琉球料理の記録と分析 食文化としての動物性蛋白質の摂取 武井 基晃  
埼玉県における麦食とその変化「民俗資料緊急調査票」を資料として 戸邊 優美  
[研究ノート] 漬物作りの経済的価値 球磨地方の漬物と高度経済成長期の「市房漬」誕生を中心として 戸邊 優美  
[調査研究活動報告] 沖縄の墓前食 首里の玉陵・那覇の久米村系の清明祭および石垣島の十六日祭の新型コロナ禍直前の調査 武井 基晃  
[資料紹介] 1960年長崎市に住む新婚夫婦の生活記録 M家家計簿 宮内 貴久

第242集 (2023.9)  
[新学術領域研究「ヤポネシアゲノム」計画研究]  
考古学データによるヤポネシア人の歴史の解明

研究の経緯 藤尾 慎一郎  
[調査研究活動報告] 考古学データによるヤポネシア人の歴史の解明 2021年度の調査(2)

藤尾 慎一郎・木下 尚子・坂本 稔  
瀧上 舞・篠田 謙一

[論文] 岩手県蝦島貝塚出土人骨の埋葬属性とmtDNA・年代測定の分析結果からみた縄文墓制の様相

山田 康弘・米田 稜

弥生人の成立と展開Ⅱ 韓半島新石器時代人との遺伝的な関係を中心に 藤尾 慎一郎

[研究ノート] 海辺の埋葬遺跡における特異な埋葬属性と交流 和歌山県磯間岩陰遺跡と鳥取県青谷上寺地遺跡

清家 章・濱田 竜彦

[調査研究活動報告] 兵庫県内縄文・古墳時代人骨の年代学的調査 日笠山貝塚・鳥坂2号墳・白鷺山箱式石棺

1号棺・新宮東山2号墳・向山古墳群・梅田15号墳・坪井2号墓 清家 章・坂本 稔・瀧上 舞

岩手県一関市蝦島貝塚出土縄文晩期 人骨のミトコンドリアDNA分析 神澤 秀明・角田 恒雄・安達 登

篠田 謙一・山田 康弘

兵庫県内出土縄文・弥生・古墳人骨のミトコンドリアDNA分析 神澤 秀明・角田 恒雄

安達 登・篠田 謙一

熊本県宇城市大坪貝塚出土 弥生後期人骨の核ゲノム分析 神澤 秀明・亀田 勇一・角田 恒雄

安達 登・篠田 謙一

鹿児島県西之表市上能野貝塚出土獣骨の年代学的調査 木下 尚子・坂本 稔・瀧上 舞

沖縄県貝塚時代後期の人骨ならびに貝殻集積の年代学的調査 2021年度の調査 アンチの上貝塚、具志堅貝塚、伊礼原遺跡、具志川グスク崖下地区、嘉門貝塚A、嘉門貝塚B、古座間味貝塚

木下 尚子・坂本 稔・瀧上 舞

第243集 (2023.11)  
[共同研究]  
直良コレクションを構成する更新統産動植物化石の分類学的再検討と現代の評価

共同研究の経過と概要 甲能 直樹  
 [調査研究活動報告] 直良コレクションおよび関連する動物化石の年代測定結果

甲能 純子・門叶 冬樹・坂本 稔  
 工藤 雄一郎・甲能 直樹

直良コレクションの更新世産植物化石の放射性炭素年代測定 工藤 雄一郎・百原 新  
 坂本 稔・門叶 冬樹

葛生産オオカミ化石の諸分析の経過と概要

工藤 雄一郎・甲能 直樹

[論文] 直良コレクションの葛生産オオカミ標本の放射性炭素 (<sup>14</sup>C) 年代測定による生息年代の決定と日本列島のオオカミの下顎第一臼歯の大きさの経時的変化について 甲能 純子・茂原 信生・門叶 冬樹  
 工藤 雄一郎・甲能 直樹

[研究ノート] 旧石器時代のオオカミ (葛生オオカミ) の生体復元模型の作成

茂原 信生・甲能 直樹・甲能 純子  
 工藤 雄一郎・株式会社サンク・アール

[調査研究活動報告] 葛生産更新世オオカミ生体復元模型の常設展示室への設置と展示構成案について

工藤 雄一郎・甲能 直樹

[研究ノート] 直良コレクションのサイ科化石

半田 直人

直良信夫コレクションの反芻類化石の再検討

西岡 佑一郎

[論文] 直良信夫のゾウ化石研究と直良コレクションに見られるゾウ化石資料 高橋 啓一

三木茂博士採集標本に基づく東京都江古田針葉樹層の形成年代とフロラの再検討 百原 新・工藤 雄一郎  
 門叶 冬樹・塚腰 実

[研究ノート] 松ヶ江動物群の時期について

春成 秀爾

弥生時代のネコとネズミ 展示資料製作とその背景

上 奈穂美・遠藤 秀紀・藤尾 慎一郎

第244集 (2024.3)  
 [共同研究]  
 古代の百科全書『延喜式』の多分野協働研究 格・式研究を踏まえた日本古代社会像の再構築

経緯と概要 小倉 慈司

第一部『延喜式』の史料学研究

[研究ノート] 延喜式板本の再検討……改刻の変遷を中心に 相曾 貴志

[資料紹介] 延喜式卷三 (臨時祭) の校訂をめぐって

早川 万年

[研究ノート] 『延喜式』卷九・一〇の校訂 小倉 慈司

[資料紹介] 『延喜式』第二一校訂 (稿) 三輪 仁美

[研究ノート] 『延喜式覆奏短尺草写』祖本の形態と伝来 清武 雄二

[資料紹介] 『延喜式』の「内膳司」式英訳の紹介 エミリー・ウォレン

[資料紹介] 『延喜式』卷37「典藥寮」英訳・注釈付

アレクサンドロ・ボレット

[研究ノート] 相互運用可能な歴史資料情報の構築に向けて

……『延喜式』TEIとIIIFを事例として

小風 尚樹・中村 覚・渡辺 美紗子

戸村 美月・小風 綾乃・後藤 真

第二部 格式研究の展開

[論文] 大嘗祭用途調達制度と行事所 神戸 航介

[論文] 平城天皇即位と『仁王経』安居講経……『類聚三代格』卷二・延暦二十五年四月二十五日官符 堀 裕

[研究ノート] 古代・中世移行期の天皇と神事の理念・実態 井上 正望

[論文] 宣旨と綸旨……東アジア比較古文書学の視点から 川尻 秋生

[研究ノート] 『延喜式』からみた儀式としての考選文申送 古田 一史

[研究ノート] 平安中期の受領国司任官と除目

中村 憲司

[論文] 格式からみた国の等級

仁藤 敦史

[研究ノート] 備後国の領域編成……瀬戸内海と陰陽連絡 遠藤 慶太

[論文] 『延喜式』における田令関連条文について

服部 一隆

[研究ノート] 「雷鳴陣」再考

中村 光一

[研究ノート] 日韓木簡にみえる「客作児」「支葉児」……平安京跡左京九条三坊十町 (施薬院御倉跡) 出土木簡を手がかりに 三上 喜孝

[論文] 綾司・綾所考……皇后宮職の手工業生産機構

堀部 猛

[研究ノート] 糸所と『延喜式』……葉玉・続命縷・菖蒲珮 から見た糸所の機能と展開 永島 朋子

[研究ノート] 『延喜式』の韓櫃に関する覚書……収納から運搬までの使用法を中心として 小川 宏和

[研究ノート] 韓国における金漆・黄漆研究の現在

稲田 奈津子

[研究ノート] 延喜式にみる酢の原料・醸造過程・関連道具について……甕を用いる酢屋の民俗考古学的調査と伝統的壺酢の醸造学的研究の検討から 余語 琢磨

[調査研究活動報告] 古代の「索餅」とその再現の諸問題 三舟 隆之・佐藤 つかさ  
 田村 真亜子・細野 朱里

第三部 器名・器形・用途・貢納—正倉院文書・『延喜式』にみえる土器

[論文] 正倉院文書からみた『延喜式』の器名世界

森川 実

[研究ノート] 『延喜主計寮式』土器調納規定の成立過程の検討 森内 秀造

[研究ノート] 平瓶に関する覚え書き 荒井 秀規

第四部 国境を越える『延喜式』

[調査研究活動報告] 国境を越える『延喜式』……グローバル・レベルで取り組む前近代日本史研究の意義と展望  
河合 佐知子

第245集 (2024.2)	
[共同研究]	
中世日本の地域社会における武家領主支配の研究	
共同研究の経過と概要	田中 大喜
第一部 武家領主と地域の生業・生産・流通	
[論文] 鎌倉期の半不輪村落における生業・景観と在地領主……肥前国高来西郷伊福村・大河村と大河氏を素材として	貴田 潔
[研究ノート]	
材木の生産・流通と領主	西田 友広
中世対馬船の日本海航行……航路の選択と利用をめぐる	荒木 和憲
第二部 武家領主の政治的動向	
[論文]	
源義朝権力の地域基盤と武士拠点……「義朝ガーノ郎等」鎌田正清と東海地域の場合	渡邊 浩貴
鎌倉幕府の地頭請所政策と荘園制	清水 亮
奥羽から見た越後応永の乱……伊達氏の侵入とその背景	黒嶋 敏
石見国長野荘をめぐる諸領主の動向	中司 健一
[研究ノート] 儀礼の場としての武士の居館について	小島 道裕
第三部 西遷武家領主論	
[論文]	
西遷武士小早川氏と楽音寺	高橋 典幸
肥前千葉氏の本拠形成と領主支配	田中 大喜
近江源氏佐々木氏の「西遷」(近江回帰)について……佐々木京極氏・佐々木朽木氏を中心に	湯浅 治久
第四部 遺構とモノからみる武家領主	
[論文]	
備後「草津」と御家人長井氏……領主拠点としての港湾集落	鈴木 康之
越後国奥山荘の基礎的研究	水澤 幸一
中世益田現地調査成果報告	
[調査研究活動報告]	
益田現地調査の目的と対象	田中 大喜
中世益田の武家領主本拠調査	田中 大喜・渡邊 浩貴
中世益田の貿易陶磁調査	
村木 二郎・池谷 初恵・小野 正敏・小出 麻友美 佐々木 健策・鈴木 康之・水澤 幸一	

第246集 (2024.3)
[共同研究]
地域における歴史文化研究拠点の構築

地域における歴史文化研究拠点とは何か  
共同研究「地域における歴史文化研究拠点の構築」の経緯と成果  
小池 淳一・高科 真紀  
I 地域における歴史文化研究の課題—地域社会の変動

をふまえて

[論文] 地域を記す 地域の歴史や文化の記述を巡る小考  
笹原 亮二

[研究ノート] 香川県における戦後民俗分野の調査研究主体の動向  
田井 静明

[論文] 地域博物館が所蔵する資料の保存と活用に関する一考察  
日高 真吾

[論文] 大規模自然災害から地域に伝わる 歴史文化資源を守り伝えるための課題 東日本大震災で被災した岩手県陸前高田市の活動に視点を当てて  
赤沼 英男

II 地域研究の構築と連携—構想と実践

[論文] 地域社会における近代教育と生業への参加過程 戦前の宮城県気仙沼市の事例から  
川村 清志

[論文] 山口弥一郎の東北研究再考 地域社会の動態的把握とフィールド学の実践  
内山 大介

[論文] 地域住民とのインタラクションによる民俗映像の構築 宮城県気仙沼市を事例に  
葉山 茂

[研究ノート] 博物館に内在する観光と政策としての観光 交錯する政策とフィールド  
磯本 宏紀

[研究ノート] 新潟県立歴史博物館における「連携」と「拠点」 文化財レスキューを中心に  
田邊 幹

[研究ノート] 地域社会における記憶の継承と記録の利活用 エリザベス・サンダース・ホームを事例に  
高科 真紀

[調査研究活動報告] 福島県只見町における歴史文化・自然の資源とその研究拠点の形成過程  
久野 俊彦

III 歴史文化研究拠点の諸相

[論文] 小川原湖民俗博物館の軌跡と意義 渋沢敬三影響下の地方民間博物館  
山田 巖子

[論文] 会津における歴史文化研究拠点の伝承と記録 『新編会津風土記』の分析  
小池 淳一

[研究ノート] 漁業協同組合が伝える民俗文化 ヤマアテの伝承媒体のすがた  
川島 秀一

IV 資料の資源化と活用

[研究ノート] 地域に集められた民具の可能性  
梅野 光興

[研究ノート] 日記資料の活用への一考察 1939年の尾形知行日記を事例に  
三津山 智香

[調査研究活動報告] 福島県只見町・成法寺観音堂の中近世の落書きに関する予備調査報告  
三上 喜孝

[調査研究活動報告] 廃された小川原湖民俗博物館所蔵資料の保存・活用への模索  
古川 実

[資料紹介] 四川省西昌地震碑  
山口 博之

第247集 (2024.3)
[共同研究]
奈良暦師吉川家文書を中心とする暦・陰陽道研究の史料基盤形成

共同研究「奈良暦師吉川家文書を中心とする暦・陰陽道研究の史料基盤形成」の概要と成果  
梅田 千尋・小池 淳一  
[論文]

奈良暦師吉川家文書の陰陽道祭祀史料  
梅田 千尋

中世前期の春日社・興福寺と南都陰陽師  
赤澤 春彦

暦注と貞享改暦  
林 淳

「簞簞」攷……中世写本を中心に 付:天正十二年写本(歴博本) 影印  
小池 淳一

近世地方陰陽師の土公神祭文……奈良暦師吉川家文書より  
松山 由布子

地方暦師・地方陰陽師史料の使い方……吉川家文書から考える  
小田 真裕

[研究ノート]  
古谷義昭氏所蔵本(古谷本)『暦林問答集』の概要と翻刻  
細井 浩志・中村 琢

京都府立京都学・歴彩館所蔵『若杉家文書』の中世史料  
遠藤 珠紀

神宮大麻に附して授与された暦……吉川家新資料群に含まれる折本暦について  
下村 育世

陰陽道と暦の展示史……出品傾向の概観と今後の課題  
近藤 絢音

[資料紹介]  
吉川家文書「占術・暦注雑書」および紙背文書について  
赤澤 春彦・田中 大喜

寛永八年版「大ざつしよ」一解題と翻刻・影印—  
小池 淳一

吉川家文書の幕末維新时期弘暦関係史料  
小田 真裕・近藤 絢音

[調査研究活動報告]  
吉川家文書を理解するために  
小田 真裕

近世の暦・陰陽道と吉川家(吉川家年表 近世)  
小田 真裕

吉川家年表(近代)  
下村 育世

第248集(2024.3)

銅鏡の型式、系譜と模倣土器をめぐる問題  
吉岡 康暢

[調査研究活動報告]  
鹿児島県大池遺跡A地点出土の貝製品等  
木下 尚子

鹿児島県十島村宝島大池遺跡 A地点出土のオオツタノハについて  
黒住 耐二

鹿児島県宝島大池遺跡 A地点出土土器調査報告  
相美 伊久雄

国際企画展示「加耶—古代東アジアを生きる、ある王国の歴史—」に関する事業・研究報告  
仁藤 敦史・松木 武彦  
上野 祥史・高田 貫太

藤尾慎一郎先生を送る  
林部 均

藤尾慎一郎年譜・主要業績目録

[共同研究] 近代日本における産業・労働の展開とジェンダー  
近代日本における産業・労働の展開とジェンダー  
横山 百合子・樋浦 郷子

[論文] 戦後日本の小売業とジェンダー 女性自営業主の位置づけに注目して  
満園 勇

[研究ノート]  
高度成長期を経た農村部女性就労の変容 香川県郡部を対象として  
倉敷 伸子

大正期における娼妓の稼働状況と健康 山形県米沢市福田遊廓「娼妓健康診断簿」の分析から  
廣川 和花

幕末維新时期の新吉原遊廓における女性の土地所持について  
横山 百合子

[資料紹介]『草溪公立普通学校沿革誌』植民地期朝鮮の地域教育史  
樋浦 郷子

[展示図録]

『陰陽師展とは何者か—うらない、まじない、こよみをつくる—』(2023.10)  
『歴博色尽くし』(2024.3)

[資料目録]

『国立歴史民俗博物館資料図録13 生田コレクション 鼓胴』(2024.3)

[歴史と文化への好奇心をひらく 『REKIHAKU』]

[特集] 推定不能

入門編  
炭素14研究から何がわかるのか 原理と歴史と地球と太陽  
箱崎 真隆

過去の太陽活動をどうとらえるか 極端宇宙天気と炭素14 一過去1万年間の太陽活動  
三宅 美沙

過去の極端災害をどうとらえるか●COLUMN 極端災害の年代決定に炭素14スパイクを応用する 箱崎 真隆

古文書から過去の宇宙気象をとらえる 歴史文献から探る過去の激甚太陽嵐  
早川 尚志

過去五万年にわたる炭素14データ 炭素14年代法の世界基準—水月湖の「年縞」とIntCal 山田 圭太郎

遺跡報告書の炭素14年代法をまとめる●COLUMN 遺跡発掘調査報告書 放射性炭素年代測定データベース  
工藤 雄一郎

国際基準は「地域差」が指摘されるようになっている 日本の年輪があぶり出す「不都合な真実」  
坂本 稔

新たなステージへ向けて●COLUMN 炭素14年代研究のこれまで、と、これから  
小林 謙一

たかが歴史 されど歴史 都城の成立—その成立によって何が起こったのか 林部 均  
 博物館マンガ 第8回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物館 資料ってどこから来るの？ 鷹取 ゆう  
 石出奈々子のれきはく！探検 第8回 神様の島はハードなくらいがちょうどいい 石出 奈々子  
 フィールド紀行 移住持込資料を守り、伝える 北海道開拓移住の記憶と記録 第2回●“受け継がれる”記憶とイメージ—絵画・祭礼・モニュメント— 工藤 航平  
 誌上博物館 歴博のイッピン なぜここにあるのか 法隆寺建造物古材の謎 坂本 稔  
 歴史研究フロントライン 現地調査から探る中世武士の地域支配 田中 大喜  
 EXHIBITION 歴博への招待状 特集展示「江戸の妖怪絵巻」 大久保 純一  
 SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦 中世地方寺院の経済活動を探る 小野塚 航一  
 歴史デジタルアーカイブ事始め 第7回 なんじょうデジタルアーカイブ 橋本 雄太  
 くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の朝顔」のご案内  
 博物館のある街 葛飾区郷土と天文の博物館 永越 信吾  
 くらしの由来記 仏壇 山田 慎也  
 研究のひとしづく 科学の目でみる歴史資料 第1回●馬型帯鉤の真贋 小瀬戸 恵美  
 Kaleidoscope of History Collection of Historical Material on Shogakui 大久保 純一  
 歴博友の会 会員募集  
 英文目次

[特集] 歴史をつなぐ

特集鼎談 歴史をとりまく過去・現在・未来  
 奥村 弘・久留島 浩（聞き手：天野 真志）  
 歴史資料を未来につなぐ 地域歴史資料概論—なぜ今に伝わり、これからどう残すのか 三村 昌司  
 思い出す出来事●COLUMN 考古学からみた東日本大震災の文化財レスキュー 植松 暁彦  
 人の語りをどう残すのか オーラルヒストリー—その歩みと可能性について 安岡 健一  
 昔の街の様子を知りたい●COLUMN 思い出を集めて分かち合う「思い出のこし」—大阪市立図書館のプロジェクト 相宗 大督  
 保存修復の目的とはなにか 作品の「時間 tempo」をめぐって—近現代イタリア保存修復学の挑戦 田口 かおり  
 文化財のお医者さん●COLUMN 文化財を読み解き、未来へ伝える科学の力—文化財保存科学と水損紙資料 中尾 真梨子

特集をもっと詳しく知りたい人へおすすめの4冊  
 たかが歴史 されど歴史 「もの」をみて「ひと」をしる 上野 祥史  
 博物館マンガ 第9回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物館 資料が博物館にやってくる！ 鷹取 ゆう  
 石出奈々子のれきはく！探検 第9回 山地直産・しごとプライド 石出 奈々子  
 フィールド紀行 移住持込資料を守り、伝える 北海道開拓移住の記憶と記録 第3回（完）●分散する記録を再構築・共有する 工藤 航平  
 誌上博物館 歴博のイッピン 最古の王墓 三種の神器をもつ渡来系弥生人 藤尾 慎一郎  
 歴史研究フロントライン 歴史文化を次世代へ伝えるネットワーク 天野 真志  
 EXHIBITION 歴博への招待状 企画展示「陰陽師とは何者か—うらない、まじない、こよみをつくる—」 小池 淳一  
 SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦 これは「被害者意識」なのか？アニメから戦争記憶を考える アルト・ヨアヒム  
 歴史デジタルアーカイブ事始め 第8回 デジタル版『渋沢栄一伝記資料』 橋本 雄太  
 くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の古典菊」・「冬の華・サザンカ」のご案内  
 博物館のある街 東京都多摩地域 帝京大学総合博物館—古代と現代の歴史、そして地域と大学をつなぐ博物館 甲田 篤郎・堀越 峰之  
 くらしの由来記 木綿—世界の繊維革命— 松尾 恒一  
 研究のひとしづく 科学の目でみる歴史資料 第2回●錦絵の色の分析 小瀬戸 恵美  
 Kaleidoscope of History The Exquisite Products of the Namiki Seisakusho (now PILOT) The History and Beauty of Maki-e Fountain Pens 小池 淳一  
 歴博友の会 会員募集  
 REKIHAKUのコンセプト  
 英文目次

[特集] 顔・身体をもつ道具たち

特集鼎談 顔が付いたモノから何を明らかにできるか—考古学・心理学・文化人類学から考える—  
 山口 真美・吉田 ゆか子・中村 耕作  
 人は「顔を見る」プロフェッショナル●COLUMN 「顔を見る」の認知心理学 高橋 康介  
 古代の造形は「ひと」の姿をどう表現したか 「もの」が「ひと」をまとうこと—古墳時代のあとさき 上野 祥史  
 正面に獅子の顔が付けられた大型帆船〈鳥船〉、顔のある船—明清代の唐船と琉球船 松尾 恒一  
 それは特殊な象徴性や社会的機能を持っていた●

COLUMN マヤ文明における「顔・身体をもつ道具」  
の社会分布 今泉 和也

妖怪になって顔や体が生じたのか？ 「付喪神」はいな  
かった—日本における「器物の怪」の不在について

香川 雅信

たかが歴史 されど歴史 弥生時代にイエネコはいたの  
か 藤尾 慎一郎

博物館マンガ 第10回 ようこそ！サクラ歴史民俗博物館  
博物館の虫菌対策！ 鷹取 ゆう

石出奈々子のれきはく！探検 第10回 団地ビビディ・バ  
ビディ・プー 石出 奈々子

フィールド紀行 加耶の史跡を探訪する 第1回

高田 貫太

誌上博物館 歴博のイッピン 地獄をコミカルに描く 耳  
鳥斎筆 地獄図巻 大久保 純一

歴史研究フロントライン 交流から探るオホーツク文  
化・擦文文化とアイヌの文化 鈴木 琢也

EXHIBITION 歴博への招待状 企画展示「歴博色尽く  
し」 鈴木 卓治

SPOTLIGHT 若手研究者たちの挑戦 「環境決定論」  
批判を乗り越えるために 土山 祐之

歴史デジタルアーカイブ事始め 第9回 国立国会図書館  
次世代デジタルライブラリー 橋本 雄太

くらしの植物苑歳時記 特別企画「伝統の桜草」のご案  
内

博物館のある街 宮城県気仙沼市リアス・アーク美術館  
「食」のまちの美術館 萱岡 雅光

くらしの由来記 大豆からピーナッツへ 川村 清志

研究のひとしづく 科学の目でみる歴史資料 第3回  
(完) ●青磁の胎土分析による産地推定 小瀬戸 恵美

Kaleidoscope of History Artificial Baits for Skipjack  
Pole-and-Line Fishing 松田 陸彦

歴博友の会 会員募集

英文目次

## [その他]

[人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト  
「横断的・融合的地域文化研究の領域展開：新たな社会  
の創発を目指して」]

『新たな社会の創発を目指して』 vol.1

高科真紀、八代陽子編 (2023.10)

『地域文化と博物館』 vol.2

日高真吾、邱君妮編 (2023.12)

『地域文化と博物館の可能性』

日高真吾、陳倩慧、黃貞燕、邱君妮編 (2024.3)

『第9回全国史料ネット研究交流集会 in 宮崎 報告書』  
(2024.2)

開催趣旨

特別寄稿

若山 浩章

開会挨拶

榎木 郁朗

開会挨拶

木部 暢子

シンポジウムⅠ 南海トラフ地震・火山噴火・水害—  
限られた資源でどう向き合っていくか—

開催趣旨説明

佐藤 宏之

報告1 歴史時代の自然災害記録の検証と利用

井村 隆介

報告2 地域に残る災害伝承を活用した「気象防災講座」  
の試み 栗原ちひろ

報告3 文化財レスキュー事業と文化財保護意識の醸成  
川路 祥隆

報告4 地域の歴史資料にかかわる人々を増やすために  
松下 正和

全体討論

シンポジウムⅡ 地域社会の現状に向き合う—地域コ  
ミュニティ・多様な人材—

開催趣旨説明

松山 真弓

報告1 一般行政職としての文化財業務について

甲斐麻里亜

報告2 高校生ボランティア活動参加による文化財保護  
活動から 新名 彩美

報告3 地域社会の実情に向き合う 高鍋町・まちづく  
り会社の事例 那須日出夫

全体討論

緊急報告会

開催趣旨説明

小野塚航一

報告1 山形文化遺産防災ネットワーク 土屋明日香

報告2 そうま歴史資料保存ネットワーク

鈴木 龍郎・阿部 浩一

報告3 NPO法人宮城歴史資料保存ネットワーク

川内 淳史

シンポジウムⅢ 資料の所在をいかに把握するか

開催趣旨説明

榎木 郁朗

報告1 地域資料に関する覚え書き—25年の反省から  
— 丹羽 謙治

報告2 つながりを保ち、また創り出すこと—文化財  
の所在確認とえひめの取り組み— 中川 未来

報告3 遠隔地所在地域資料の保存と活用に向けて—  
宮崎県立妻中学校関係資料の場合— 小関悠一郎

報告4 学校における資料保存の問題について

福田 泰典

報告5 日南市における資料保存の課題と展望

長友 禎治

全体討論

総合討論

閉会挨拶 高妻 洋成

閉会挨拶 奥村 弘

ポスターセッション

「10年間ふるさとなみえ博物館」実行委員会，国立文化財機構文化財防災センター，上相英之（奈良文化財研究所），山形文化遺産防災ネットワーク，そうま歴史資料保存ネットワーク，ふくしま歴史資料保存ネットワーク，茨城文化財・歴史資料救済・保全ネットワーク，那須資料ネット，群馬歴史資料継承ネットワーク，千葉歴史・自然資料救済ネットワーク，新潟歴史資料救済ネットワーク，信州資料ネット，東海歴史資料保全ネットワーク，歴史資料保全ネット・わかやま，歴史資料ネットワーク，岡山史料ネット，山陰歴史資料ネットワーク，歴史資料保全ネットワーク・徳島，愛媛資料ネット，高知地域資料保存ネットワーク，熊本被災史料レスキューネットワーク，宮崎歴史資料ネットワーク，九州保健福祉大学，鹿児島歴史資料防災ネットワーク

講師・報告者プロフィール

ポスター発表者プロフィール